

福祉施設の指定管理者の評価結果について

1 目的

指定管理者を導入した八丁堀保育園等福祉施設について指定管理者による施設運営の状況を評価し、今後の施設運営に反映させ、利用者サービスの向上を図る。

2 施設及び指定管理者

- (1) 八丁堀保育園
株式会社 ベネッセスタイルケア (指定期間平成16年8月1日～平成21年3月31日)
- (2) 知的障害者生活支援施設「レインボーハウス明石」
社会福祉法人 東京都知的障害者育成会 (指定期間平成16年7月1日～平成21年3月31日)
- (3) 知的障害者グループホーム「フレンドハウス京橋」
社会福祉法人 東京都知的障害者育成会 (指定期間平成18年4月1日～平成21年3月31日)
- (4) 老人保健施設「リハポート明石」
社団法人 中央区医師会 (指定期間平成16年7月1日～平成21年3月31日)
- (5) 特別養護老人ホーム「マイホーム新川」・高齢者在宅サービスセンター「マイホーム新川」
社会福祉法人 賛育会 (指定期間平成18年4月1日～平成23年3月31日)
- (6) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」・高齢者在宅サービスセンター「マイホームはるみ」
社会福祉法人 賛育会 (指定期間平成18年4月1日～平成23年3月31日)
- (7) 日本橋高齢者在宅サービスセンター
株式会社 ニチイ学館 (指定期間平成18年4月1日～平成23年3月31日)

3 評価方法

(1) 一次評価

ア 所管課評価

所管課が福祉サービス第三者評価、事業者事業実績報告書、東京都指導検査等に基づき利用者を主体とした運営や公的な施設としての運営の効率的な運営がなされているかを評価した。

イ 経営相談員による財務評価

東京商工会議所中央支部の経営指導員により、経営母体の財政状況を決算書等により評価した。

(2) 評価委員会の評価

「中央区福祉保健部指定管理者評価委員会」が、「福祉施設における指定管理者評価表」により所管課から説明を聴取し、指定管理者の評価を行った。

4 評価委員会

- (1) 開催日 平成20年10月15日(水)

(2) 評価委員会の構成

	氏名	役職等
委員長	橋本 泰子	大正大学 名誉教授
委員	金井 文隆	東京商工会議所中央支部 事務局次長
委員	宮崎 弘次	主任児童委員
委員	箕輪 慎	社会福祉協議会登録ボランティア団体うさぎの会
委員	大橋 まつ枝	介護相談員
委員	斎藤 裕文	福祉保健部長
委員	竹内 利雄	高齢者施策推進室長
委員	東海林 文夫	中央区保健所長

5 評価結果

施設名	指定管理者名	評価		
八丁堀保育園	(株)ベネッセスタイルケア	80	A+	適正
レインボーハウス明石	(社)東京都知的障害者育成会	80	A+	適正
フレンドハウス京橋	(社)東京都知的障害者育成会	80	A+	適正
リハポート明石	(社団) 中央区医師会	80	A+	適正
マイホーム新川 特別養護老人ホーム 高齢者在宅サービスセンター	(社) 賛育会	79	A	適正
マイホームはるみ 特別養護老人ホーム 高齢者在宅サービスセンター	(社) 賛育会	81	A+	適正
日本橋高齢者在宅 サービスセンター	(株)ニチイ学館	80	A+	適正

「福祉施設における指定管理者の評価表」別紙のとおり

6 評価結果の公開

評価結果をホームページに公開するとともに、指定管理者に通知し、改善点については今後の運営に反映するよう検討を促す。

平成20年度 福祉施設における指定管理者の評価表

【評価基準】

1 評価レベル

評価レベル	乗率	評価の基準
5	100%	目標(計画)を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%	目標(計画)を上回る管理運営がなされている
3	60%	目標(計画)どおり適正に管理運営がなされている
2	40%	目標(計画)を下回る管理運営がなされている
1	20%	目標(計画)を大幅に下回る管理運営がなされている

各評価項目の得点 = 各評価項目の配点 × 評価レベル(乗率)

2 総合評価

評価ランク	評価の基準
A+	合計得点80点～100点
A	合計得点70点～79点
B	合計得点60点～69点
C	合計得点50点～59点
D	合計得点50点未満

1 概要

事業所名	中央区立八丁堀保育園
所在地	中央区八丁堀4-5-10
施設長	伊賀上 知子
運営主体・設置主体	株式会社 ベネッセスタイルケア
定員及び利用者数	定員 79人 利用者数 76人(H20.3.1現在)
理念・方針	「よりよく生きる力」の基礎を育てる いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。
事業の変遷	平成16年8月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価 レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。 施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか (管理コストの水準、研修内容など)。 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。			
〔評価の理由〕						
保育所保育指針や関係法令に基づき日々児童一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな保育が行われている。 特に平成19年度は、「肯定的な人と人とのつながり、共に育ちあう 共育」を年間目標の1つとして掲げ、子どもと保護者と保育士のコミュニケーションに重点をおき、良好な関係づくりができた。 また、第三者評価実施時には、保育に関する記録や園に常備すべき書類もすべて整っていることが確認できているとともに、随時区が行う訪問調査においても特に指摘するところはなかった。 職員体制については、保育士の過半数である7名が入れ替わるなどやや不安定な面が見られたが、区や運営主体による研修の結果、保育の質は確保されており、落ち着いた園運営がなされている。個人情報の保護を含む危機管理体制については、PCのアクセス制限・各種マニュアルや規定の整備・緊急時の対応についての講習・玄関のナンバーロックをはじめとした防犯用品の整備等、ソフト・ハード両面から体制を整えている。						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分なされたか その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
毎年、事業者が独自に利用者満足度調査を実施し、ニーズの把握・分析を行い、結果を次年度へ反映させるなど継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では総合満足度が回答者全員が「とても満足」「まあ満足」という評価をしている。 また、第三者評価における利用者アンケートでも、総合的な満足度としては96%と高い評価を得ている。しかし、「要望等を伝えやすいか」あるいは「情報提供が十分されたか」という点で一部必ずしも満足していない人を見受けられた。						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		10
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	5	10	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕						
事業費全体で見ると、対前年比1,983,000円(1.9%)増で、主な要因としては人件費が対前年比5,697,000円(7.1%)増となっている。一方、運営費および一般管理費はそれぞれ1,990,000円(11.7%)および1,724,000円(17.4%)の減となっている。人件費増については、定期的なベースアップに加え、基本給(月額)を一律上げるなど、近年保育施設が増加し、保育士の						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
-	-	-	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		6
(1) 公の施設としての運営状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	3	6	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕						
認可保育所として、子どもたちを安全に預かることといった施設の性格上、地域の人たちを積極的に受け入れることが難しいという制約がある中、近隣の公立保育園・幼稚園・小学校と交流するとともに、下水道局主催のイベントに参加するなど地域との関わりを大切にしている。また、平成19年度は保護者や地域の子育て世帯を対象に専門の講師を招き生活リズムをテーマとした講演会を開催し、地域福祉に対する貢献も行われている。						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う				
事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人都民税納税証明書及び消費税納税証明書 経営規模等総括表 過去三カ年の決算書の写し				
企業安全性の面からいくつかの項目を分析した結果、当者は介護入居者から長期預り保証金を預かるという経営システムを採用していることもあり、一般的な指標で比較することは難しいが、流動比率が200%を超え、固定長期適合率も良好な範囲に収まっていることから、安定的な財務内容であることがうかがい知れる。この経営システムは、介護事業においては通常活用されている仕組みであることから、現在の制度的な枠組みに大きな変化がなければ安定的な状態は継続すると思われる。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	委託料	107,009千円	108,992千円	

4 評価委員会 評価 適正 不適 (評価実施日 平成20年 10月 15日)

職員の定着率が低いこと等に課題はあるが、工夫をしつつ適正運営がなされている。子ども、保護者、保育士相互のコミュニケーションに重点を置き、良好な関係作りに取り組んでおり、利用者の満足度は高い。	
<委員の主なコメント>	
保育士の入れ替わり等、不安定な要素を抱えながらも、工夫をしつつ適正な運営がなされている。指定管理者5年目なので、今後一層の期待が持てる。より一層効果的な運営をしていただきたい。 全体により管理をしていると評価できます。 子どもを預かる園としての安全管理、また保護者からのいろいろな意見等があり、運用面でいろいろ困難なことがあると思います。	

【総合評価】

合計得点	80	評価ランク	A+
------	----	-------	----

1 概要

事業所名	知的障害者生活支援施設「レインボーハウス明石」
所在地	中央区明石町1-6
施設長	笹谷 亨江
運営主体(設置主体)	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会 (中央区)
定員及び利用者数	入所定員 30人 利用者数 30人(H20.3.31現在)
理念・方針	「私たちは、親と共に、子のそれぞれの自立に向かう運動体としての活動を進めてまいります。」(育成会) 「私たちは、一人ひとりに合わせた生活の場、働く場を行政・家族と力を合わせて作り、支援します。」(レインボーハウス明石)
事業の変遷	平成16年7月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。 施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。 利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。			
〔評価の理由〕						
<p>関係法令や区との協定に基づき、利用者一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援が行われている。</p> <p>平成19年度には新制度へ移行し、施設入所支援事業、短期入所事業、就労移行支援事業、就労継続支援事業(A型・B型)、生活介護事業、日中一時支援事業の計7事業を運営し、利用者のニーズや状況に応じた支援と活動内容の充実に努め、大きな成果を得た。</p> <p>また、第三者評価実施時には、支援に関する記録や施設に常備すべき書類もすべて整っていることが確認できるとともに、随時区が行う訪問調査においても特に指摘するところはなかった。</p> <p>職員体制については、平成19年度から施設の特性を踏まえた人事考課制度が試行され、職員のやる気や働きがいに的確に対応するよう制度の運用に努めている状況である。一方、第三者評価において人事管理上増員の必要性について「改善成果が期待される。」との指摘があった。個人情報の保護を含む危機管理体制については、「個人情報保護規定」と「情報公開規定」を施設独自に制定し、PCのセキュリティ保護などの対策もとられている。さらに、玄関や廊下にカメラを設置し利用者の安全や緊急事態への対応に備えるなど、ソフト・ハード両面から体制を整えている。</p>						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分なされたか その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
<p>毎年、事業者が独自に利用者満足度調査を実施し、ニーズの把握・分析を行い、結果を次年度へ反映させるなど継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では「レインボーハウス明石で活動や生活をしていて楽しいか」との問いに対して回答者の多くが「楽しい」という評価をしている。</p> <p>第三者評価における利用者アンケートでも、総合的な満足度としては「施設に対して満足している」との回答が多かった。また、個別の質問についてもほとんどの質問で肯定的な意見が多かったが、食事のメニューや味について「ひと工夫が望まれる」との指摘があった。</p> <p>なお、施設独自にオンブズマン3名からなる「苦情解決第三者委員」を設置し、常に利用者の要望等に耳を傾けている。</p>						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		8
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕						
<p>実施事業が拡大している時期にあり、それに伴い全体経費は増加している状況である。こうした状況の中、事業の実施にあたり「最小の経費で、最大の効果」をあげるべく随所に創意工夫が見られる。特に、「喫茶アラジン」の利益を活用し、様々なレクリエーション活動の実施、利用者の工賃のアップなど常に利益を利用者に還元する姿勢は高く評価できる。</p> <p>また、日頃区が行っている訪問調査においても、居室や交流室をはじめとする施設内の衛生管理や清掃の状況、給食の提供状況などにおいても全体的に問題はなく(衛生管理と給食の一部に「ひと工夫を」という指摘はあるものの)、常に「利用者本位」を念頭においた上での効率的な執行に対して法人としての姿勢と努力が伺える。</p>						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
-	-	-	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
10	4	8	評価のポイント 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕						
<p>様々なイベント等へ参加し「喫茶アラジン」のパンを販売するなど、地域や関係団体等との連携や協働に努めている。</p> <p>また、ホームページを活用しボランティアの施設参加や行事参加を促すなど、情報を発信しながら施設への理解と協力を求めるとともに、介護体験実習や福祉実習、区の職員研修、他施設からの職員研修を積極的に受け入れている。さらに、地域の町会の行事にも積極的に参加するなど日ごろから地域との良好なコミュニケーションを図るなど地域福祉に貢献することにより、施設に対して有形無形の成果が還元されている。</p>						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う

事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人都民税納税証明書及び消費税納税証明書
経営規模等総括表
過去三ヵ年の決算書の写し

企業安全性の面からいくつかの項目を分析した結果、借入金利率も1.1%と低く、また、自己資本率も高く当者はきわめて安定的な財務内容であることがうかがい知れ、財務内容は勿論、指定管理者として施設運営に当たる者として、規模や人的・物的能力とあわせ相応しい者といえる。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	委託料	241,328千円	298,276千円	

4 評価委員会 評価

適正 不適

(評価実施日 平成20年10月15日)

安定的運営がなされている。

人員配置に課題があるという第三者評価の指摘、利用者の「食事メニューや味付け」についての要望もある反面、利用者一人ひとりへの細やかな支援、イベントの参加、開催など評価できる。

<委員の主なコメント>

利用者一人一人への細やかな支援を行っていることが感じられ、イベント等も参加開催していることから、大変よい運営がなされていることが感じられる。

他区の福祉職員より、喫茶アラジンとそのパンについて、「中央区は立派ですね。」と言われた。

全体に適正さを実感できる。運営に関する姿勢、特に人事考課の取り組みは評価できる。

【総合評価】

合計得点	80	評価ランク	A+
------	----	-------	----

1 概要

事業所名	知的障害者グループホーム「フレンドハウス京橋」
所在地	中央区京橋2-6-7
施設長	大内 利一
運営主体・設置主体	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会(中央区)
定員及び利用者数	定員 6人 利用者数 6人(H20.3.31現在)
理念・方針	「私たちは、親と共に、子のそれぞれの自立に向かう運動体としての活動を進めてまいります。」 「住まいの提供と日常生活に必要な援護及び支援を行う」
事業の変遷	平成18年4月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価 レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	<p>管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。</p> <p>施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。</p> <p>職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。</p> <p>施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。</p> <p>利用者の選定が公平で適切に行われていたか。</p> <p>日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p> <p>事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。</p>			
〔評価の理由〕						
<p>関係法令や法人理念、運営方針に基づき日々利用者一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな管理運営が行われている。</p> <p>特に、障害者自立支援法の施行により、グループホームにおける世話人の役割が、従来の「利用者のホームでの生活を支えること」から「利用者の地域での自立を支援する」方向に変化しており、世話人夫妻はこれを意識して運営している。</p> <p>また、第三者評価において「知的障害者のグループホームは、平成18年度から東京都の第三者評価対象施設からはずれているが、独自に毎年度継続して実施し、サービスの向上を図っている」点について高い評価を得ている。</p> <p>職員体制については、世話人夫妻は知的障害者の入所施設で入所者支援にあたっていたこともあり、支援員としての基本姿勢を十分に認識しており、事例を踏まえたケース研修へ参加し支援者としてふさわしい行動を確認する場を設けている。個人情報の保護を含む危機管理体制については、法人で作成した「個人情報保護規程」に基づき適切に対応している。また、緊急対応マニュアルを整備するとともに、消防計画を作成し定期的な防災訓練を実施している。また、世話人は、災害支援ボランティアでもあり、地域とも連携しながら防災活動に取り組んでいる。</p>						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	<p>利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>利用者への情報提供が十分なされたか</p> <p>その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>			
〔評価の理由〕						
<p>利用者とのコミュニケーションは、起床時から就寝時までできるだけ声かけを多くし、体調や精神状態等を把握しながら良い関係づくりに努めている。利用者調査でも「仲間同士はうまくいっているか」との問いに、6名全員が「はい」と回答している。</p> <p>また、第三者評価における利用者アンケート(面接)でも、総合的な満足度として「施設はあなたにとって良いところだと思うか」との問いに対しては「とてもよい」が4名、「ややよい」が2名と高い評価を得ている。</p>						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		8
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕						
<p>経費については、人件費、事業費、管理費とも固定経費であり、経費低減の余地は乏しい状況である。</p> <p>このような状況の中、世話人夫妻の創意工夫により、土曜日には全員で車での外出や外食、一泊旅行などを実施している。また、ボランティア講師の協力を得て、パソコン教室や手芸教室を定期的に行っている。</p> <p>一方、第三者評価においては、「さらなる改善が望まれる点」として、「整理整頓の徹底など、より居心地の良い生活空間づくりに向けた取組み」について指摘があり、区民館上層階を利用してのグループホームというハード面での制約があるものの、談話室の狭さ、共用スペースの使い勝手など改善を図りたい場所が見受けられるとして、書棚・パソコン周りの整理整頓、室内全体を見渡しての不用品の廃棄等が必要と思われる、との意見であった。</p>						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
-	-	-	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
10	4	8	評価のポイント 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕						
<p>地域の「和太鼓の会」に参加し、練習や発表会、盆踊りにおいて地域の人達との繋がりを深めるとともに、さまざまな障害者の自主グループや親の会が主催する集いへ参加するなど、関係団体との連携も図られている。</p> <p>また、「おもちゃ図書館」での幼児の遊び相手のボランティアや「クリーンデイ」の清掃作業へ参加するなど、地域福祉に対する貢献も行われている。</p>						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う

事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人住民税納税証明書及び消費税納税証明書
経営規模等総括表
過去三年の決算書の写し

企業安全性の面からいくつかの項目を分析した結果、借入金利率も1.1%と低く、また、自己資本率も高く当者はきわめて安定的な財務内容であることがうかがい知れ、財務内容は勿論、指定管理者として施設運営に当たる者として、規模や人的・物的能力とあわせ相応しい者といえる。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	委託料	14,888千円	14,792千円	

4 評価委員会 評価

適正 不適

(評価実施日 平成20年 10月 15日)

<p>経営方針、内容は妥当。 細やかな生活指導、支援が行われあたたかな家庭的な雰囲気を感じるが、第三者評価の指摘(整理整頓)については、改善されたい。運営安定化のための努力は大きい。現在の職員が退職した後の体制の検討も必要である。</p> <p><委員の主なコメント></p> <p>管理者の人柄がにじみ出ている報告書である。知的障害者への支援は最も困難なもの。それだけにこの報告書には感激した。 世話人夫妻を中心とした自立を支援する体制がとてもよく、あたたかい家庭的なものを感じ、とてもよいと評価できる。</p>

〔総合評価〕

合計得点	80	評価ランク	A+
------	----	-------	----

1 概要

事業所名	介護老人保健施設「リハポート明石」
所在地	中央区明石町1 - 6
施設長	武藤 邦彦
運営主体・設置主体	社団法人 中央区医師会
定員及び利用者数	定員 入所 100名(短期入所20名を含む)、通所リハ(予防を含む) 30名
理念・方針	医道を昂揚し、医学・医術の発達普及と公衆衛生の向上を図り、社会福祉の増進に寄与することを目的とし、昭和23年に設立した社団法人。
事業の変遷	平成16年7月開設 開設より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価レベル	得点
1 施設運営に関する取組み		80		64
(1) 管理運営の実施状況				
配点	評価レベル	得点	評価のポイント	
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。 施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。	
〔評価の理由〕				
医師の管理のもと、利用者の状態に応じたサービス計画を作成し、リハビリや日常生活の動作、訓練を行い、在宅復帰に向けた取組みがされている。19年度は利用者の60%が在宅復帰するなど、成果は得られている。しかし、介護度の高い利用者の増加により、再利用となる方も増えている。平成19年度当初は、区内に特養が開設されたことなどにより、利用者が一時減少した。新規利用者の拡大に向けた方策として、脳卒中医療連携リストに掲載のある近隣医療機関へ積極的に働きかけるなど、利用促進に努めている。 介護サービスについては、利用者の個別ニーズに対応し、個別ケアに取り組んでいる。各サービスごとに利用率の具体的な数値目標を持ち、介護サービスの提供にそれぞれ取り組んでいる。 現在、必要な介護職員は確保されているが人材確保が難しくなっている。				
(2) 利用者の満足度				
配点	評価レベル	得点	評価のポイント	
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分なされたか その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	
〔評価の理由〕				
毎年、福祉サービスの第三者評価を受審し、利用者アンケートの結果から、ニーズの把握・分析を行い継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では総合満足度で回答者の9割から「とても満足」「まあ満足」という高い評価を得ている。また、回答「はい」が多い上位項目として「利用者の気持ち」「食事の満足度」「生活に必要な介護」「緊急時の対応」などがある。しかし、「サービス内容や利用方法の説明」、「第三者委員の認知」、「計画(ケアプラン)策定時の説明」という点で一部必ずしも満足していない人を見受けられた。(ケアプランの作成など家族が代行しているケースが多いため) 利用者に対しては、意見箱や第三者評価のアンケート、医師会独自のサービス調査などを行っている。 利用者からの苦情・要望については、苦情検討会議を開いて解決に努めている。				

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		8
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	5	5	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕 運営費全体で見ると、対前年比15,271千円(4.0%)増で、要因としては人件費が対前年比18,407千円(6.6%)増となっている。一方、事業費については、3,137千円(3%)減となっている。 人件費増については、施設開設3年を経過し、退職手当引当金が発生したことによるもので、介護職の確保が難しくなりつつある状況の中で、開設以来看護介護職は半数以上が継続勤務していることへの評価は高い。 事業費減については、区内に特養が開設したことによる、利用率の減によるものであるが、2月程度で通常に戻している。						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	3	3	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕 利用料の収入状況については、対前年比11,449千円(3.1%)減となっている。主な要因としては、入所稼働率が低かったため、これは近隣に民間の特別養護老人ホームが開設したことにより、一時的退所者が増加したためである。しかし、その後積極的に入所者の獲得に勤めたため、稼働率も約2ヶ月間で戻り安定した。						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕 近隣の保育園と交流するとともに関わりを大切にしている。また、近隣町会を交えた総合防災訓練を行うなど地域との関わりを大切にしている。また、実習生や見学者、学生ボランティアの受入など地域福祉に対する貢献も行われている。						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う				
事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人住民税納税証明書及び消費税納税証明書 経営規模等総括表 過去三ヵ年の決算書の写し				
企業安定性の面からいくつかの項目を分析した結果、当者は極めて安定的な財務内容であることがうかがい知れる。なかでも、借入金もなく、流動資産が流動負債の4倍以上あるような状況は、通常企業であると中々お目に掛かれないようなケースである。医師会という特別な存在に依るところが大きな理由であると思われるが、財務内容は勿論、指定管理者として施設運営にあたる者として、規模と併せ、相応しいと言える。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	負担金補助及び交付金	382,088千円	397,358千円	

4 評価委員会 評価 適正 不適 (評価実施日 平成20年10月15日)

在宅復帰率は高いが多くは再入所、課題はあるものの医師等の配置など公的施設としてのスタンスは保持している。9割の入所者が満足しており、十分な運営がなされているとよい状況。	
<委員の主なコメント>	
在宅復帰率は高いが多くは再入所。課題はあるものの公施設としてのスタンスは保持。	
9割の入所利用者が満足している現状、十分な運営がなされている現状、今後は一層の財政安定と、更なる入所者サービスを行って欲しい。	

【総合評価】

合計得点	80	評価ランク	A+
------	----	-------	----

1 概要

事業所名	特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」
所在地	中央区新川2 - 27 - 3
施設長	繁田 正人
運営主体・設置主体	社会福祉法人 賛育会
定員及び利用者数	定員 入所 80名、短期入所 8名、通所介護(予防を含む) 40名、認知症通所介護 12名
理念・方針	利用者個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とし、昭和27年に設立した社会福祉法人。
事業の変遷	平成7年10月開設 平成18年4月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。利用者の選定が公平で適切に行われていたか。日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。			
(評価の理由)						
定期的に家族会やアンケート調査を行い、専門的な視点からのケアプラン作成等を行うなど個別ケアに取り組んでいる。 地域社会との関係強化のために、地域連携推進委員会を中心とし積極的に活動している。 入所者のターミナルケアについては、看取り指針により退所者21名中12名(平成19年度)を施設内で看取り、生活拠点としての役割を果たしている。 通所サービスについては、目標であったサービス提供時間の延長が次年度へ繰越になったが、ニーズの高い機能回復訓練を充実するなどにより利用者の拡大を図っている。 また、人材確保が難しくなっている中において、配置基準を上回る介護職員を確保し、サービス向上に取り組んでいる。						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。利用者への情報提供が十分なされたか。その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
(評価の理由)						
毎年、福祉サービスの第三者評価を受審し、利用者アンケートの結果から、ニーズの把握・分析を行い継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では総合満足度で回答者の8割から「とても満足」「まあ満足」という高い評価を得ている。また、回答「はい」が多い上位項目として「利用者の気持ち」「不満要望が言いやすい」「食事の満足度」「施設生活でのくつろぎ」「緊急時の対応」などがある。しかし、「サービス内容や利用方法の説明」、「第三者委員の認知」、「計画(ケアプラン)策定時の説明」という点で一部必ずしも満足していない人を見受けられた。(ケアプランの作成など家族が代行しているケースが多いため) 利用者に対しては、個別ケアを進めるために、ケースカンファレンスや家族アンケートを実施し、ニーズに対応したサービスを提供している。 利用者からの苦情・要望については、苦情解決委員会を立ち上げ情報の共有化を図り、課題解決に努めている。						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価 レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		7
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	4	4	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕 運営費全体で見ると、対前年比5,710千円(1.0%)増で、要因としては人件費が対前年比17,237千円(5.2%)増となっている一方、業務委託費、光熱水費などが減少している。 人件費の増については配置人員の増加によるものである。事業費については、業務委託事業者の見直しにより縮減を図った。光熱水費についても職員全体で節約に努める等指定管理者の努力によるものである。 また、ボランティアを広く活用し、利用者のレクリエーションを充実している。 施設内の衛生管理や清掃の状況、食事の提供状況などに問題はなく、常に効率的執行に対して指定管理者としての努力が伺える。						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	3	3	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕 利用率の向上により収入状況については、対前年比5,710千円(1.0%)増となっている。主な要因としては、入所、通所一般型、通所認知症型の各サービスの利用率が向上している。						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕 近隣の保育園・幼稚園・小中学校と交流するとともに、近隣町会を交えた総合防災訓練を行うなど地域との関わりを大切にしている。また、実習生や見学者、学生ボランティアの受入、地域高齢者家族を対象とした健康体操の開催など地域福祉に対する貢献も行われている。 さらに、民間特養での受け入れ困難な経管栄養等の受け入れ拡大体制を作り、順次受け入れしていくなど公の施設として区と連携し、介護サービスの拡充を図っている。						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う 事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人都民税納税証明書及び消費税納税証明書 経営規模等総括表 過去三年の決算書の写し				
企業安定性の面からいくつかの項目を分析した結果、当者は借入金利率も年利約1.7%と非常に低コストで調達しており、また総資本の5割以上が自己資本であり、自己資本比率も高くなっているなど十分に安定的な財務内容であることがうかがい知れる。 やや借入が多くなりがちではあるが、現状レベルであれば、問題はない。財務内容は勿論、指定管理者として施設運営にあたる者として、規模と併せ、相応しいと言える。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	負担金補助 及び交付金	127,441千円	124,661千円	

4 評価委員会 評価 適正 不適 (評価実施日 平成20年 10月 15日)

経管栄養等医療ニーズ者の入所率が高い点、ターミナルケアについて評価できる。 苦情の解決委員会の立ち上げ等運営努力が見られる。 第三者評価の利用者アンケートの結果で「不満が言いやすい」「食事の満足度」等良い評価を受けており評価できる。
<委員の主なコメント> 看護、介護職員の定着率が高い。 サービス提供時間を拡充する体制を整えて、今後より一層充実した運営を期待したい。 年間20人以上の方を看取るなどターミナルケアに対してとても評価できる。

【総合評価】

合計得点	79	評価ランク	A
------	----	-------	---

特別養護老人ホーム等「マイホームはるみ」

部	福祉保健部	課	高齢者福祉課
---	-------	---	--------

1 概要

事業所名	特別養護老人ホーム等「マイホームはるみ」
所在地	中央区晴海1-5-1
施設長	本田 佳津子
運営主体・設置主体	社会福祉法人 賛育会
定員及び利用者数	定員 入所 80名、短期入所 8名、通所介護(予防を含む) 40名、認知症通所介護 12名
理念・方針	利用者個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とし、昭和27年に設立した社会福祉法人。
事業の変遷	平成3年7月開設 平成18年4月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。 施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。 利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。			
〔評価の理由〕						
特別養護老人ホーム入所者については、モニタリングを強化して個別援助計画を立案し、計画に基づく支援を実施した。ベット利用率95%以上の目標を達成した。また、ターミナルケアについては、看取り指針により退所者18名中12名(平成19年度)を施設内で看取り、生活拠点としての役割を果たしている。通所サービスについては、利用者の個別ニーズ対応し、送迎の工夫やサービス提供時間の延長、外出プログラムの充実などサービス向上を展開し利用率の向上につながっている。各サービスごとに利用率の具体的な数値目標を持ち、経営を視野に入れた介護サービスの提供にそれぞれ取り組んでいる。 また、人材確保が難しくなっている中において、配置基準を上回る介護職員を確保し、サービス向上に取り組んでいる。						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 利用者への情報提供が十分なされたか その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕						
毎年、福祉サービスの第三者評価を受審し、利用者アンケートの結果から、ニーズの把握・分析を行い継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では総合満足度で回答者の8割から「とても満足」「まあ満足」という高い評価を得ている。また、回答「はい」が多い上位項目として「利用者の気持ち」「不満要望が言いやすい」「食事の満足度」「施設生活でのくつろぎ」「緊急時の対応」などがある。しかし、「サービス内容や利用方法の説明」、「第三者委員の認知」、「計画(ケアプラン)策定時の説明」という点で一部必ずしも満足していない人を見受けられた。(ケアプランの作成など家族が代行しているケースが多いため) 利用者に対しては、モニタリングを強化し、個別援助計画を作成・支援するなど個々に対応している。 利用者からの苦情・要望については、施設内掲示板に情報公開し、透明性を図っている。						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		9
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	4	4	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
〔評価の理由〕 運営費全体でみると、対前年比30,334千円(6.8%)増で、要因としては修繕費・人材派遣委託費・事業賃借料がそれぞれ増加となっている。一方、人件費については、8,975千円(2.8%)減となっている。 人件費については人材確保が難しい中において、繁忙時間帯に介護職の非常勤等の活用により効率化を図っている。事業費については増加しているが、通所サービスの充実を図っているため、送迎の工夫やサービス提供時間の拡大など積極的に行っている。また、ボランティアを広く活用し、利用者のレクリエーションを充実している。						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	5	5	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
〔評価の理由〕 利用率の向上により収入状況については、対前年比30,334千円(6.8%)増となっている。 主な要因としては、入所、通所一般型、通所認知症型の各サービスの利用率が向上している。また、通所サービスについては、サービス提供時間の幅広い対応や送迎方法の工夫などによりサービスの充実を図っており積極的に活動している。						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
〔評価の理由〕 近隣の保育園・幼稚園・小中学校と交流するとともに、近隣町会を交えた総合防災訓練を行うなど地域との関わりを大切にしている。また、実習生や見学者、学生ボランティアの受入、地域高齢者家族を対象とした健康体操の開催など地域福祉に対する貢献も行われている。さらに、民間特養での受け入れ困難な経管栄養等の受け入れ拡大体制を作り、順次受け入れしていくなど公の施設として区と連携し、介護サービスの拡充を図っている。						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う

事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人都民税納税証明書及び消費税納税証明書
経営規模等総括表
過去3年の決算書の写し

企業安定性の面からいくつかの項目を分析した結果、当者は借入金利率も年利約1.7%と非常に低コストで調達しており、また総資本の5割以上が自己資本で、自己資本比率も高くなっているなど十分に安定的な財務内容であることがうかがい知れる。

やや借入が多くなりがちではあるが、現状レベルであれば、問題はない。財務内容は勿論、指定管理者として施設運営にあたる者として、規模と併せ、相応しいと言える。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	負担金補助及び交付金	5,050千円	5,050千円	

4 評価委員会 評価 適正 不適 (評価実施日 平成20年 10月 15日)

経管栄養等医療ニーズ者の入所率が高い点、ターミナルケアについて評価できる。
苦情対応も掲示板に公開するなど対応が的確。
地域との交流も活発で、ボランティアをよく活用している。また利用者アンケート結果も良好である。

<委員の主なコメント>

利用者アンケートの結果も良好。地域との関わりも図っており、非常によい。

人件費の減が気になったが、繁忙時間帯に非常勤職員の活用による効率化は有効。

ターミナルケアに対してとても評価できる。同一建物内の中学校・保育園との交流が活発でとても良い。

〔総合評価〕

合計得点	81	評価ランク	A+
------	----	-------	----

日本橋高齢者在宅サービスセンター

部	福祉保健部	課	高齢者福祉課
---	-------	---	--------

1 概要

事業所名	日本橋高齢者在宅サービスセンター
所在地	日本橋堀留町1-1-1
施設長	斉藤 優子
運営主体・設置主体	株式会社 ニチイ学館
定員及び利用者数	定員 通所介護(予防を含む) 30名
理念・方針	人々の健康と文化の創造に貢献するサービス企業を目指して医療・福祉・教育等多角的な事業を幅広く展開し、昭和48年に設立した株式会社。
事業の変遷	平成3年7月開設 平成18年4月1日より指定管理者

2 所管課評価結果

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
1 施設運営に関する取組み				80		64
(1) 管理運営の実施状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
50	4	40	管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。施設の管理運営にあたる人員の配置が適切であったか。職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。利用者の選定が公平で適切に行われていたか。日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。			
(評価の理由)						
サービスについては、利用者の個別ニーズに対応し、送迎の工夫やサービス提供時間の延長、外出プログラムの充実などを展開し利用率の向上につながっている。 個別機能訓練計画に基づく身体能力に合わせた個別メニューの実施やマシーンによる訓練の導入及びレクリエーションの充実を図っている。 入浴については、利用者の希望にそって、計画的に実施している。 送迎については、利用者の乗車時間が短くなるよう工夫しているなどサービス向上に努めている。						
(2) 利用者の満足度						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
30	4	24	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。利用者への情報提供が十分なされたか。その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
(評価の理由)						
毎年、福祉サービスの第三者評価を受審し、利用者アンケートの結果から、ニーズの把握・分析を行い継続的な質の向上に取り組んでおり、平成19年度調査では総合満足度で回答者の9割以上から「とても満足」「まあ満足」という高い評価を得ている。また、回答「はい」が多い上位項目として「職員の対応」「利用者の気持ち」「生活に必要な介助」「個人のペース」「職員の言葉使い・態度」などがある。しかし、「第三者委員の認知」「計画(ケアプラン)策定時の説明」という点で一部必ずしも満足していない人が見受けられた。(ケアプランの作成など家族が代行しているケースが多いため) 苦情については、その都度解決している。						

評価項目及び評価のポイント				配点	評価レベル	得点
2 効率性の向上に関する取組み				10		8
(1) 経費の低減						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	4	4	施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。 施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
(評価の理由)						
事業費全体でみると、対前年比8,955千円(22.4%)増で、要因としては人件費が対前年比4,085千円(13.9%)増、事業費は4,870千円(45.7%)増となっている。 主な要因としては、利用率の向上による人件費、事業費の増によるもので、指定管理者制度導入時に社会福祉法人から株式会社に変更となり、利用者が当初伸び悩んでいた。順次利用者確保により利用率は向上している。 施設内の衛生管理や清掃の状況、食事の提供状況などに問題はなく、常に効率的執行に対して法人としての努力が伺える。						
(2) 収入の増加(利用料金制を導入している場合)						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
5	4	4	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
(評価の理由)						
利用率の向上により収入状況については、対前年比9,508千円(24.8%)増となっている。サービス提供時間の幅広い対応や送迎方法の工夫などによりサービスの充実を図っており積極的に活動している。						
3 公の施設にふさわしい運営に関する取組み				10		8
(1) 公の施設としての運営状況						
配点	評価レベル	得点	評価のポイント			
10	4	8	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 地域福祉に対する貢献が行われたか。			
(評価の理由)						
近隣の保育園・幼稚園・小中学校と交流するなど地域との関わりを大切にしている。また、実習生や見学者、学生ボランティアの受入、地域高齢者家族を対象とした認知症講演会の開催など地域福祉に対する貢献も行われている。						

3 財務評価の結果

商工会議所の経営指導員により、経営母体の財政状況の評価を行う				
事業者提出書類： 法人税、法人事業税、法人住民税納税証明書及び消費税納税証明書 経営規模等総括表 過去三年の決算書の写し				
企業安定性の面からいくつかの項目を分析した結果、当者は借入金利率も年利約1.5%前後と金融機関から優遇金利を受け資金を非常に低コストで調達しており、また流動資産が流動負債の230.1%あるなど流動比率も高い。さらに総資本の4割5分以上が自己資本であり、自己資本比率も高くなっているなど十分に安定的な財務内容であることがうかがい知れる。 医療関連事業という安定的柱を基に、堅実に全てをバランスして調和していることが理解できる内容。財務内容は勿論、指定管理者として施設運営にあたる者として、規模と併せ、非常に相応しいと言える。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度
決算	負担金補助及び交付金	0	0	

4 評価委員会 評価 適正 不適 (評価実施日 平成20年 10月 15日)

<p>利用者の満足度が90%以上であり、特に職員の対応のよさを支持する回答を得ており好感が持てる。サービスの内容としての活動内容が不明であることは残念(充実していないかもしれないとの懸念)だが、送迎の工夫、サービス時間の延長など努力がうかがえる。</p> <p><委員の主なコメント> 第3者評価で高い評価が得られた項目は評価できる。 学生ボランティア等を受入れたり、認知症講演会を行うなど地域とも十分に関わっていると見られる。</p>	
--	--

【総合評価】

合計得点	80	評価ランク	A+
------	----	-------	----